筆記課題【H-11\_sub309　福祉住環境整備技術】

以下の各問いについて、文章が正しいものには○、誤っているものには×を解答欄に記入しなさい。

１） ADLとは、食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な日常生活動作のことである。

２） 要介護状態区分は、要支援が2段階、要介護が4段階に分けられる。

３） 住宅改修を実施した場合、改修完了後すみやかに施工写真と改修前後の見取り図と見積申請書などを保険者の窓口に提出し申請しなければ介護保険制度の利用はできない。

４） 洋室と和室と段差（30mm）の解消を行うため、すりつけ板を設置する方法がある。

５） スロープを表す下図において、A部の高さはGL＋200mmとなる。



６） 車いすから便器への移動のため、座ったまま便座や手すりに手をつき、お尻を持ち上げ、少しずつ横にずれて移乗する方法を立位移乗という。

７） トイレの改修において、トイレの採寸を行い見取り図の作成を行えば、トイレ周辺は、特に採寸や見取り図の作成を行わなくてもよい。

８） 要介護者が在宅しているトイレの戸を開き戸に改修する場合は、一般に、内開きとするとよい。

９） 建築基準法関係法令によれば、両側の壁間の内法寸法が780mmの階段に突出寸法110mmの手すりを片側に取り付ける場合、階段幅は770mmとなる。

１０） 高齢者の生活空間（寝室）が2階にあり、就寝後にトイレに行くことを考慮する場合は、トイレ出入り口、階段降り口、寝室出入り口の順に隣接させるとよい。

解答

筆記課題「H11sub-01　福祉住環境整備技術」

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ○ | × | × | ○ | ○ |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| × | × | × | ○ | × |

筆記課題「H11sub-01　福祉住環境整備技術」　解説

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設問No | 解答 | 解説 |
| 41 | ○ | Activities of Daily Livingの略。  福祉住環境整備では、その人の心身の状態やADLの状態を的確に把握し、その人に見合った福祉用具の選定や住環境を実現するための方法を提示することが基本である。 |
| 42 | × | 要支援は2段階、要介護は5段階である。  要介護のレベルごとに設定されたケアプランの作成が必要で、その計画に基づいてサービスを利用することができる。 |
| 43 | × | 介護保険制度では、住宅改修を行う場合、工事着工前に、改修前の写真や見取り図、改修後の見取り図等を持って保険者の窓口に提出し、事前申請が認められないと住宅サービスの利用はできない。 |
| 44 | ○ | 「すりつけ板」の設置は、介護保険制度による住宅改修項目に該当する簡易的な段差解消方法である。 |
| 45 | ○ | 矢印はスロープの傾斜方向を示し、矢印の方向に行くほど傾斜が上がる。  A部の高さは、2000mm×1/10＝200mmである。 |
| 46 | × | 車いすから部が離れないで移乗する動作群を座位移乗という。 |
| 47 | × | 現地調査では整備予定の見取り図を作るのはもちろん、整備予定外の場所であっても、動線の確認をするために、周辺の見取り図を作っておく。  特に水回りでは、配管の状況を予測したり、新規配管の取り出しをどこからとるか等、判断材料として必要となる。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設問No | 解答 | 解説 |
| 48 | × | 外開きが望ましい。  トイレの戸は引き戸が望ましいが、やむを得ず開き戸にする場合に、内開きでは、トイレから出る時に戸の動きを避けて体をかわす必要があることや、具合が悪く倒れた時に外からの救出が困難な場合などが想定される。 |
| 49 | ○ | 建築基準法施行令  第23条　階段及びその踊場の幅並びに階段のけあげ及び踏面の寸法　第3項  　階段及び踊場に手すり及び階段の昇降を安全に行うための設備でその高さが50cm以下のもの(以下この項において「手すり等」という。) が設けられた場合における第1項の階段及びその踊場の幅は、手すり等の幅が10cmを限度として、ないものとみなして算定する。  　したがって、階段幅は780mmから10mm (110mm－100mm) を引いた770mmとなる。 |
| 50 | × | 寝室からトイレまでが最短になるように配置するのが望ましい。  寝室からトイレまで常に階段降り口を通過して行き来する場合、誤って転倒・転落する危険性がある。 |